

## 電子マネーの活用による新サービスの展開

### 「札幌地下街商店会」(札幌市)

所在地:札幌市中央区南2条東1丁目 住友生命札幌中央ビル2階

代表者名:理事長 五十嵐 久良

電話番号:011-251-7600

会員店舗数:139店

URL: <http://www.sapporo-chikagai.gr.jp>

紹介者:札幌市商店街振興組合連合会(推薦者)

#### 背景

札幌地下街は、大通駅から地下鉄すすきの駅までの「ポールタウン」と、大通駅からテレビ塔までの大通公園の地下に位置する「オーロラタウン」という二つの地下街から構成されています。両地下街はともに、札幌オリンピックの開催を翌年に控えた昭和46年に、国際都市を目指す札幌市の新たな顔として、北日本初の地下鉄の開通とともにオープンしました。

オープンから37年目を迎えた現在、札幌市中心部の地下鉄3線が集まる大通駅や、札幌市の中心部のデパート、商店街を地下通路で結んだ雪国になくはない地下都市空間として多くの市民、観光客に親しまれています。

#### 取組概要

ポイントクラブのサービスを充実強化

道内の商店街ではいち早く、平成16年11月に、電子マネー「Edy」を導入したところですが、さらに平成18年11月には、この電子マネー「Edy」の機能付きのカードや「Edy」が使えるおサイフケータイ(携帯電話)がそのまま「さっぽろ地下街ポイントクラブ」の会員証になる仕組みを導入し、携帯電話やパソコンによりインターネットで直接会員申込ができる地下街ポイントクラブの新たなサービスを開始しました。

#### プリペイド型電子マネーの効果

新たなサービスは、入会金、年会費がなく、クレジットカードと異なり、審査不要です。時代の最先端機能が使用できる手軽な感覚、小銭を気にしないで良いこと、特に携帯電話もポイントカード代わりに魅力から、20代～30代の女性のお客を増やしてい

るほか、高齢者の方からも「地下街に来るのが楽しみになった」との人気を博し、会員数の80%以上の方が利用しています。

#### 人にやさしい地下街の取組

また、人にやさしい地下街、快適な地下街づくりを目指して、誰もが快適に楽しく利用できるバリアフリー化の実現や、車椅子の方専用の駐車場と車椅子対応エレベーターを設置したほか、待ち合わせ場所となる公共広場に、人工の滝、ベンチ、ステンドグラスなどを整備して、心を癒す空間の演出を図っています。

#### 安全・安心な地下街としての取組

さらに安全や安心を重視する地下街として、自衛消防隊の配置や、定期的な消防訓練の実施のほか、札幌市の迷惑防止条例に沿った巡回を行い、大都市札幌の中心部にある地下商店街として、安全で快適なまちづくりに取り組んでいます。

#### 取組効果、今後の展望

ポイントクラブの取組み、バリアフリー化の実施など、これまでの努力の積み重ねによって、雪国札幌になくはない地下都市空間としてお客様に親しまれており、一日の利用者は15万人を数えています。

今後は、安全性、快適性のさらなる向上、公共通路の規制緩和、店舗構成の一層の魅力アップ、周辺商業施設との連携を図り、札幌都心の魅力づくりを進めて行くとのことです。

オーロラタウン



小鳥の広場



ポールタウン



車椅子対応専用駐車スペース



商店街からのメッセージ  
いつも身近で、市民の皆様にも親しまれる  
ような商店街として頑張って参ります。

地図

